



経済・雇用対策を推進し、千葉県の活性化に取り組みます!

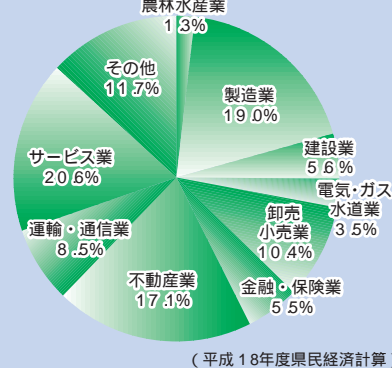
平成20年の世界的な経済・金融危機の影響を受け日本経済は低迷し、本県においても未だ予断を許さない状況にあります。政府は経済危機対策に取り組むとともに、平成22年6月に中期的成長戦略である「新成長戦略～「元気な日本」復活のシナリオ」を策定しました。その内容は、平成32年までに、環境・健康・アジア・観光の4分野で500万人の雇用と123兆円の需要を創出し、名目成長3%超えを目標としています。千葉県においても総合経済対策を展開するとともに、総合計画である「輝けちば元気プラン」を策定し取り組んでいます。私は、千葉県経済の活性化と拡大による、雇用の創出と雇用の安定を目指し経済対策、雇用対策を積極的に推進します。

千葉県工業の位置(都道府県順位)(平成20年)

順位	事業所数		順位	製造品出荷額等	
	都道府県			都道府県	金額(百万円)
1	大阪	24,188	1	愛知	46,358,737
2	愛知	21,823	2	神奈川	19,494,614
3	東京	19,262	3	静岡	18,996,381
4	埼玉	15,486	4	大阪	18,083,098
7	神奈川	11,031	6	千葉	15,403,813
10	茨城	6,752	7	埼玉	14,487,632
12	千葉	6,610	8	茨城	12,049,160
14	長野	6,515	11	東京	10,114,243
	全国	262,893		全国	334,016,041

本県の産業構成

県内総生産額(名目)19兆2,465億円



経済対策

1. 既存の県内インフラ施設の有効活用による経済活性化

年間発着30万回の実現と魅力あふれる成田空港の整備

「年間発着回数の増加にともなう雇用や経済への影響」

時期	平成19年度	平成22年度以降	4～5年後
年間発着回数	20万回	22万回	30万回
経済波及効果	9,789億円	1兆2,425億円	2兆1,177億円
雇用創出効果	6万4千人	8万1千人	13万8千人

出典:「成田空港の地域経済に与える波及効果の調査報告書」地域振興連絡協議会

30万回実現に向けた条件整備の推進

騒音対策をはじめとする空港周辺地域の条件整備

戦略的な国際線・国内線の路線整備

(現在、国際線95都市、国内線8都市と連携)

同時離発着運用の導入に向けた条件整備と空港内の整備

圏央道(大栄JCT～松尾横芝JCT間)と北千葉道路の早期完成

羽田空港と成田空港との連携によるハブ空港の実現

高速道路(東関東)への空港連結高速バス最優先レーンの新設による交通連携の強化

成田・羽田両空港のターミナルの直結によるトランジット客のスムーズな乗り換えを実現...60分の両空港間移動を実現!

都内JR線主要駅と連結した成田空港チェックインカウンターの整備と成田

空港直結高速バスの整備

羽田空港との連携と船舶輸送へも対応可能な保税物流基地の千葉県内新設

MICE(国際会議、展示会、ミーティング等)の県内への誘致促進に向け

海外へのPR。成田空港と幕張新都心間の交通アクセスの改善、空港周辺地域の

インフラ整備を推進



東京湾アクアラインを活かした地域活性化

料金引き下げの社会実験の結果は、通行量1.5倍、1都3県

への経済波及効果は358億円。観光振興や新規企業立地の

促進等、更なる経済効果の拡大を図る



幕張新都心と稲毛海岸が連携した地域活性化:「ふるさと千葉市の海」実現!

千葉県・千葉市・千葉県企業庁・関係団体・市民団体などの幅広い連携組織

を形成し産業・地域振興策の検討と実現

海・公園・居住空間が一体となった潤いあふれる地域開発と活性化

泳げて家族で楽しめる「ふるさと千葉市の海」の実現に向けた検討と条件整備

自転車を利用した、「エコタウン美浜」の実現

(現在、自転車通行環境整備に関するモデル地域として検見川駅周辺が指定中)

かずさアカデミアパークのあり方の検討・確立

(株)かずさアカデミアパークの経営破綻、第1期分譲は今だ分譲中、かずさDNA研究

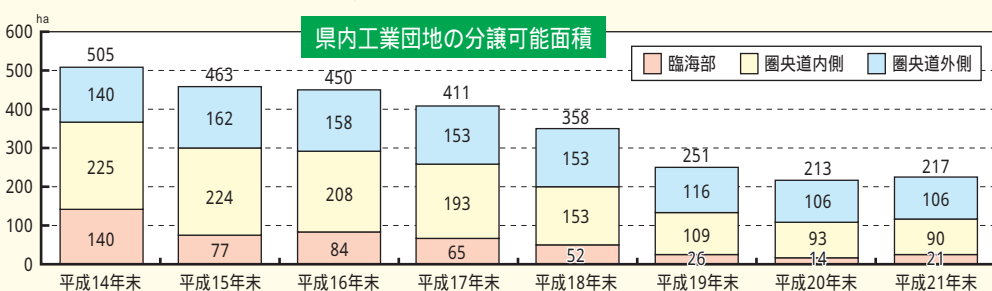
研究所への毎年13億円の巨額投資など課題は山積しており、今後のアカデミアパーク

構想のあり方について検討・確立

2. 新事業・新産業の創出と新規企業立地の促進

千葉県企業庁の収束にともない不足している工業団地整備の早期再開、自治

体の助成制度の充実等、企業立地の促進に繋がる条件整備を推進



3. 中小企業支援策の充実

中小企業は、県内企業数約13万2千のうち99.8%で県内の常用雇用者数の7割を占める。地域経済や地域社会を支える中小企業の活性化を目指し、「中小企業元気戦略」の充実と支援体制の強化

4. 観光立県千葉の実現...均衡ある県内経済の拡大に向け積極的な観光振興

スポーツと連携した観光振興

県内のサイクリング道路の有効活用と安全確保策の充実によるサイクルツーリズムの積極的な推進

マラソンやハイキング、サーフィンやダイビング等幅広いスポーツの振興

マリナーの稼働率を高めるための魅力的な条件整備(利用料金の低廉化、老朽施設改修など)

県内56市町村との連携と競争原理の導入による特色ある観光資源の発掘

「観光一村一品運動」の展開による地域の観光資源の掘り起こしと地域連携

千葉県のマスコットキャラクターであるチーバ君を、56市町村のオリジナル

チーバ君として作成し地域キャラクターとして活用。ぬいぐるみやピンバッチ

などの地域限定販売

千葉県B級グルメ選手権を年間2回程度56市町村地域持ち回りで開催し、地域

の特徴ある食文化や食材を宣伝

交流人口の拡大から定住人口の増加に繋がる観光施策の展開

グリーン・ブルー・ツーリズムの展開と持続可能な仕組みづくり

千葉県環境首都の制定や県内の自然を活かしたエコツーリズムの開催

自動二輪車駐車場の整備促進と情報交換・休憩施設(自転車含む)の設置、

トイレの整備等、観光客受入の条件整備

千葉市地域の高速道路の渋滞解消のため、宮野木JCTと千葉東JCT間の3車線

化、国道14号に沿って湾岸千葉IC付近と蘇我IC付近間の高速道路の新設に

よる千葉市の高速道路環状線化を検討

千葉市地域の高速道路の渋滞解消のため、宮野木JCTと千葉東JCT間の3車線

化、国道14号に沿って湾岸千葉IC付近と蘇我IC付近間の高速道路の新設に

よる千葉市の高速道路環状線化を検討

雇用対策



1. 若年者雇用対策の推進

ニート・フリーター対策の推進

再挑戦可能な条件整備(職業訓練や訓練時の生活支援策の充実)

雇用のミスマッチ解消と企業・労働組合と連携した早期退職者の減少に向けた対応

キャリア教育の充実による職業観・勤労観の醸成

新卒者未就職者への就職支援策の充実

2. 在学・在職・離職時における職業訓練制度の充実と利用しやすい条件整備

3. ハローワークとジョブカフェの機能連携によるきめ細かい就職支援

全ハローワーク内に若年者、非正規労働者の専用受付窓口を設置し、ワン

ストップサービスによる親切丁寧な就職相談の実施

ハローワークと千葉県が連携したセミナーや企業との懇談会の開催

市町村と密接に連携した雇用の掘り起こし(特にひとり親、障がい者の支援)

千葉県求職者総合支援センター事業の充実と宣伝強化

4. 緊急雇用対策事業の迅速かつ効果的な事業展開

ふるさと雇用再生特別基金事業及び緊急雇用創出事業において、人材育成・

地域の活性化に繋がる継続可能で効果的な事業を展開

数値で見る 県政

平成19年→平成22年 千葉県政の変化

(平成18年度末) (平成21年度末)

教育 子育て支援

●少人数学級の推進のために増置した教職員定数

379人⇒785人(406人増)
千葉県では毎年少しずつ定数を増やしています。国では35人学級を予算化の方向で検討していますが、県自身の努力もさらに必要です。

●私学関係助成事業(国庫負担金を含む)

330億円⇒415億円(23年度は422億円)

●幼稚園経常費補助金(国庫負担金を含む)

132億円⇒142億円

●学童保育の設置数

464カ所⇒561カ所(97カ所増)
共働きの増加により、保育所や学童保育の需要が高まっています。県内では保育所の待機児童も多く、不足気味です。さらなる充実が求められます。保育所については、今年度も1200人定員増の予算措置がとられています。



●こどもの医療費助成について

通院: 3歳未満、入院: 就学前
⇒通院・入院: 小学3年生まで(22年12月~)
県議会での多くの議員の働きかけにより、断続的に対象が拡大しました。財源の問題はあるものの、安心して子どもを医療機関に受診させられる環境になりつつあります。

●児童相談所における児童虐待対応件数

1559件⇒2655件(1096件増)
住民の通報が義務化されるなど、児童虐待に対する社会の視線は厚くなってきていますが、いまだ悲惨な例が後を絶ちません。児童相談所の増員・機能強化とともに、地域で子育てを支える仕組みづくりが不可欠です。

医療・福祉

●県内医師数の推移(平成18年12月と平成20年12月の比較)

9662人⇒10228人(566人増)

●県内看護師数の推移(平成18年12月と平成20年12月の比較)

26656人⇒29373人(2717人増)
医師数・看護師数は増加しているものの、銚子市立病院の一時閉鎖に見られるように、地域医療の崩壊はまだ治まっていません。千葉県の人口10万人当たりの医師数は161人(平成20年12月)で全国第45位と大変少なく、医学生への奨学金制度など拡充してきましたが、さらなる医師確保対策が求められます。

●特別養護老人ホームのベッド数の推移

14441床⇒15824床(1383床増)
今年度、特別養護老人ホームを1200床増床する予定となっていますが、いまだに県内の待機者は16000人を超えています。在宅介護が理想であるのは確かですが、家族の負担の問題もあり、安心して暮らせる施設の整備が急務です。

●中核地域生活支援センターにおける相談件数の推移

70,171件⇒91,629件(21,458件増)
中核地域生活支援センターは、対象横断的な福祉の総合相談・権利擁護・地域生活支援の機能を併せ持った民間サイドの拠点として、各保健所圏域に設置されています。世相を反映してか、相談件数はうなぎ上りで、さらなる充実が望まれます。



行財政改革

●県民一人当たり債務残高の推移

374,828円⇒405,282円(30,454円増)
建設地方債は減少しているものの、地方交付税の代替として発行している臨時財政対策債が増加したことにより、総額では増加しています。国と都道府県の財政システムを根本的に変えない限り、この状況を打開するのは難しいですが、行財政改革の努力を続けていかなければなりません。

●県職員の人件費の推移(知事部局、退職手当以外)

724億円⇒657億円(67億円減少)

●外郭団体の数・職員数の推移

46団体・2,455人⇒41団体・2,160人(5団体減、295名減)
正規職員数が8,203人⇒7,441人と減少したのと同時に、給与改定による減額措置で、着実に人件費は減少しています。しかしながら、いつまでも減らし続けるわけにもいきませんから、事業の不断の見直しが不可欠です。また、外郭団体についても同様です。

安心・安全

●県内交通事故の発生件数・死亡者数の推移(平成18年、21年の比較)

33,834件・266人⇒26,306件・197人(7,528件減・69人減)
シートベルト着用率の増加や、飲酒運転の厳罰化などにより、死亡者数は毎年減少しています。さらなる運転マナーの向上を県民全体で心がけましょう。

●刑法犯認知件数・重要犯罪認知件数の推移(平成18年、21年の比較)

115,700件・889件⇒96,400件・838件(19,300件減・51件減)
体感治安に大きな影響を与える犯罪を重点的に各種検挙活動を行った結果、平成14年をピークに7年連続減少しています。今年はひったくりや振りこめサギが多発しており、更なる対策を行っています。

不正経理問題 その後...

平成21年9月に発覚した千葉県の不正経理問題ですが、その後も公社等外郭団体において同様の経理処理が明らかになったり、また業者プール金がいまだ1億8,000万円ほど未返還な状態にあたりと、収束の兆しが見えません。全てを県庁職員の責任とし、大量処分や職員による返還により収束を図ろうとしています。県庁の風土・体質の問題に根本的にメスが入っていないと感じます。今後も、この問題については議会を通じて追求されていくものと思いますが、県民の皆様にもぜひ注視していただきたいと考えます。

千葉県総合スポーツセンターに関するアンケート調査の結果について

千葉県総合スポーツセンターに関するアンケートについては、合計29通のご回答を頂きありがとうございました。

私の考える将来構想は、現在の競技スポーツ中心の施設運営から市民スポーツ、障がい者スポーツを加えた形で運営することが基本です。アンケートの回答は積極的に推進すべきとの意見とコストを意識して慎重に展開すべきとの両面の回答がありました。また、アイデアとして緑地を利用したグランドゴルフ場の設置、ジョギング、ウォーキングでは安全(車両・夜間照明)の確保、壁打ちコートの新設等がありました。

私としては、引き続き他県における好事例を参考にしながらコストと施設の果たす役割を考慮しながら策定をすべきと思います。平成23年度の早期には要望事項を完成させ千葉県への提言につなげます。

なお、今回アンケートを実施して配布方法や回収方法に課題を感じました。手渡しでファックスにて回答という方法をとった訳ですが、平行してホームページでのアンケート調査の対応を含め検討します。



Profile

1960年 千葉県銚子市にて出生(1月13日)、現在51歳
1978年 東電学園高等部卒業、東京電力 千葉支店に入社
2000年 連合千葉 部長・副事務局長
2007年 千葉県議会議員初当選、商工労働企業常任委員会
2008年 放送大学入学(社会と産業コース)在学中
2010年 神奈川大学大学院法学研究科入学・在学中 政策に反映するために、行政学(地方自治)と労働法を中心に研究中

●現職
千葉県議会議員(1期目) 2007年(19年)4月~
千葉県民社協会 事務局長 2008年(20年)3月~
民主党千葉県連合会 組織委員長 2010年(22年)3月~
千葉県極真空手道選手権大会 大会会長 第4回~6回
千葉県ライアスロン連合 副会長 2011年(23年)1月~

●趣味
トライアスロン、山歩き、ランニング、自転車旅行、カメラ、熱帯魚等